

☆新型コロナウイルス電話相談窓口

- 新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター・24時間）
電話：0721-23-2683 ファクス：0721-24-7940（大阪府富田林保健所）
- 大阪府（9:00～18:00、土日祝も対応）
電話：06-6944-8197 ファクス：06-6944-7579
- 大阪国際交流センター外国人専用（平日9:00～19:00、土日祝9:00～17:30）
電話：06-6773-6533 Eメール center@ih-osaka.or.jp 対応言語：英語、中国語など

♡総務省消防庁「令和元年版救急・救助の現況」（令和元年12月26日）の概要（全国）

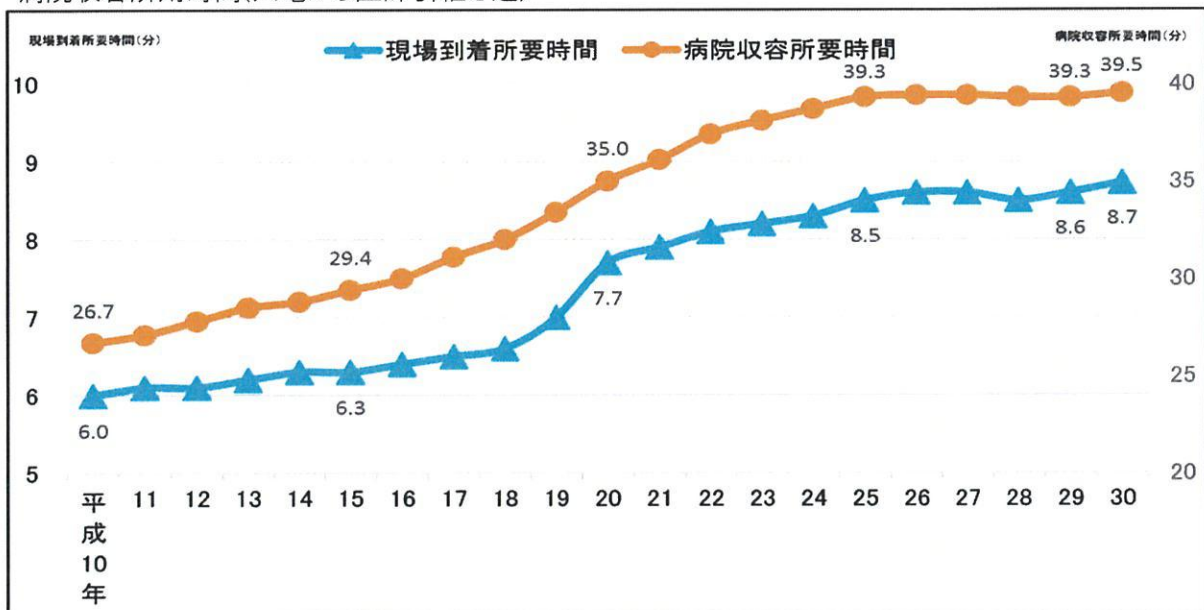
消防庁は、平成30年中の救急・救助業務の実施状況について公表しました。全国の「救急車救急出動件数」は約660万件（20年前の1.8倍）、「搬送人員」は約596万人で、いずれも過去最多となりました。「急病による出動」が65%で増加傾向にある一方で、「交通事故」は7.0%と年々減ってきています。なお、救急車は、4.8秒に1回の割合で出動していることとなります。

他に、「事故による救助出動件数」は9.7万件（前年の5.5%増）で、うち「建物等による事故」が、平成25年以降最も多く、36.5%にのぼり、増加傾向にあります。

- 搬送者のうちの高齢者割合：59.4%（約353万人）←5.0%増（いずれも前年）
- 搬送者のうちの軽症者割合：58.8%（約290万人）←4.5%増
- 救急車による現場到着時間（入電から現場到着）：8.7分 ←0.1分増
- 病院収容所要時間（入電から医師引継ぎ迄）：39.5分 ←0.2分増（下記グラフ）
- 一般市民による心肺蘇生（AED使用含む）実施率：58.1%（15万人弱）
うちAEDによる除細動実施は1,254人で、1ヵ月後の生存者数は701人と6割弱
- 消防防災ヘリコプターによる救急出動件数：3,128件 ←7.2%減
- 消防防災ヘリコプターによる救助出動件数：2,058件 ←1.5%増



病院収容所要時間（入電から医師引継ぎ迄）



◇河内長野市ブルーカードシステムの登録医の先生方へのお願い <Part 2>

- 「ブルーカード」作成に際して、薬剤の内容、CPRの有無の他、「入退院を繰り返している」「救急搬送歴がある」「夜間の問合せがある」「独居で急変の可能性が高い」など、発行理由の記載充実をお願いします。
- 個人情報保護のため、「ブルーカード」発行と同時に、本人・家族と「個人情報使用同意書」を取り交わして下さい。正本は登録医の先生が保管し、副本(コピー分)は本人・家族に渡して下さい。
- クラウド化⇒クラウドシステムへの加入には、まず、登録医の先生からの利用申込みが必要となっておりますので、未だの先生方は宜しく願います。ご不明の点等がありましたら、地域連携室までご連絡下さい。

☆河内長野市ブルーカードシステム(病状急変時対応システム)の推進 (5月31日現在)

<ブルーカードシステムの運用状況>	○「ブルーカード」発行者:登録医(医師会員)
○「ブルーカード」発行:240件(再発行等含む)	⇒現在登録医44名・登録医療機関37機関
○「ブルーカード」発動:62件(うち救急隊出動41件)	(うち「ブルーカード」を発行の登録医は29名)
○「ブルーカード」発行時の患者平均年齢:85.9歳	○連携病院は6病院、協力病院は11病院、
○キーパーソン:娘・嫁(50%)、息子(24%)など	委員会参画病院は2病院

☆【Topics】

○「日本医師会総合政策研究機構」(日医総研):平成9(1997)年4月、「人にやさしい医療を目指して」を掲げて、日本医師会が目指す国民のための医療政策展開をサポートするためのシンクタンクとして設立され、医療政策、地域医療、医療経営等の研究領域について、成果を発表しています。所長は、日本医師会長です。現在マスクが出回ってきていますが粗悪品が多く、今般日医総研は、輸入マスク(N95)におけるフィルターの測定評価を行いました。評価書希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

○「生前整理」:元気なうちに、身辺や家財をある程度片付けておくことをいい、「終活」の一つです。具体的には、不用品処分、不動産売却、遺産配分の決定などになりますが、主に、不用品の処分を行うことです。遺品整理と違って、生前整理は、生きているうちの話ですから、自身の意思が尊重されます。最近、施設への入居が決まっていたり、今後の暮らしを見据えて「スッキリ」したいと考え、生前整理をされる方が増えています。生前整理には、悪質な業者も多いですので、身近な家族や友人、或いは、任意後見受任者(司法書士・行政書士)らに相談するのがいいでしょう。

□生前整理に関する懇談:5月21日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

現状等に関して、生前整理に詳しいヘルパーさんと懇談をしました。その中で、「生前整理は、整理をしたい本人の希望が第一。本人がスッキリすること。コロナ後は、増えてくるのでは」との見解で一致しました。

◇河内長野市市民保健部との懇談:5月8日(金)・25日(月)に事業運営等についてなど。

◇第47回在宅サロンは、新型コロナウイルス感染防止のため、延期となっております。このため、現在、“顔の見える化”(会うこと)に代わり、郵送、配達、FAX送信による「情報発信(提供)」を行っています。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

(まちなのれんけい室)

<メールアドレス:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>

多職種連携のための **プチれんけいレポート** 第2号 令和2(2020)年6月1日

河内長野市医師会地域連携室(まちのれんけい室) <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

□「バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展2020」は結局、中止となりました。

☆ **ACP・終活を考える!** ACP(アドバンス・ケア・プランニング、人生会議)の具体的実践のために

- ①新「マイ・ノート」(河内長野市版エンディングノート)を発行中です。ハッピー終活の具体的行動が例示され、ACPの重要性、任意後見の必要性が謳われています。なお、エンディングノートは色々なものが市販されていますが、どれも公正証書遺言のように、法的効力はありませんが、自由に幅広く活用できるという良さがあります。新「マイ・ノート」希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。
- ②最高裁判所事務総局家庭局は、昨春、成年後見制度(法定後見・任意後見)における「診断書」(医師が作成)の書式改定と、「本人情報シート」(ケアマネジャーや社会福祉士が作成)の導入を行いました。更に、昨秋、「診断書」書式がマイナーチェンジされました。「診断書」は、「本人情報シート」に基づいて、作成して下さい。新書式希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

意思決定に関する枠組み



広島県安芸地区医師会ホームページ一部改定

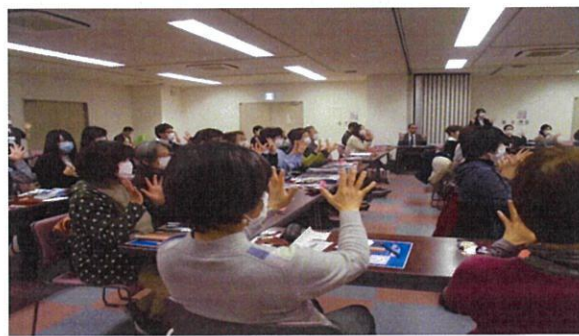
日本救急医学会では、「蘇生を試みるな」とされ、蘇生の可能性はもとも低いので、蘇生を試みることを控えるという意味が込められている。

- ③ACPの具体的実践に向けた取組みとしては、昨年11月14日(木)に、**プチれんけいカフェ**で、多職種による「もしバナゲーム」を実施され、終末期における参加者夫々の価値観が共有された所です。更に、2月12日(水)には、**まちのれんけい室セミナー**で、講演と実技が実施され、ACPの重要性が謳われ、「自分で決める」には、アンチエイジングが大切とされました。とはいえ、ACPIは何も新しいことをするものではなく、サービス担当者会議など日常の多職種(本人・家族・成年後見人等も含めた)の会合こそが、ACPなのです。

<もしバナゲーム>



<ラッピング講座>



☆**新型コロナウイルス対策** 疫病退散、打ち勝つために！！

- ①大阪府民・事業者対象の緊急事態措置に関する窓口として、大阪府緊急事態措置コールセンター(9:00～18:00、土日祝除く)が開設中で、電話は06-4397-3299、ファクス:06-4397-3295です。
- ②詐欺に注意して下さい。①マスクの送り付け商法(封筒に入った使い捨てマスク30枚が宅急便で届いた。家族も全く心当たりがない)。②給付金詐欺(特別定額給付金の代理申請業務を行う団体を名乗る者から電話で、個人情報や暗証番号を聞かれた)などです。対処方法としましては、①では、「使用せずに保管し、14日経ってから処分しましょう」(特定商取引法)、②では「すぐに切りましょう」になります。
- こういう時は、国民生活センター・消費者ホットライン0120-213-188か188(有料)等に連絡しましょう。その際、氏名、住所、電話番号、性別、年齢、職業が聞かれます。
- ③感染拡大の「第2波」に備えて、新型コロナ専用病院として、大阪市立十三市民病院(大阪市淀川区・受け入れ可能病床数90床)と錦秀会阪和第二病院(大阪市住吉区・同24床)が稼働(予定)中です。また、秋以降、インフルエンザの流行と重なる懸念もあり、更なる医療体制の整備は必須となっています。
- ④厚生労働省は、5月8日(金)の事務連絡で、新しい「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」を発表しました。37.5度以上の発熱が4日以上続くなどの目安が削除されています(別紙)。
- ⑤厚生労働省は、株式会社サンライズと協力し、「ラブライブ！サンシャイン!!」に登場するスクールアイドルAqours(アクア)を描いた手洗い推進啓発ポスターを公開しました(別紙)。
- ⑥厚生労働省は、疫病から人々を守るとされる妖怪「アマビエ」(下図・注)をモチーフに、若い方を対象とした啓発アイコン等を作成し、「自分のため、みんなのため、そして大切な人のため。私たち一人ひとりが、できることをしっかりやっていく。それが私たちの未来を作ります」と謳っています。

知らないうちに、拡めちゃうから。



アマビエ

STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

<厚生労働省>

(注)「アマビエ」は、伝説の半人半魚・妖怪。海中から光輝く姿で現れ豊作・疫病などに関する予言をすると伝わっています。今回、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「疫病退散に御利益があるというアマビエの力を借りよう」との発想がSNSで広まったことで、厚生労働省はこれにあやかり、上記ポスター等を作りました。

☆**地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進** やっぱり原点に戻って！！

- (1)厚生労働省「実地指導の標準化・効率化等の運用指針」が、昨年5月に出されています。これは、訪問看護、訪問介護、ケアプランセンターなどの実地指導における自治体毎の差異をなくし、その効率性を向上させるためのものです。指針希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。
- (2)2月26日(水)と4月22日(水)のれんけいカフェは、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となりましたが、その際、お配りする予定の資料を、一まとめにさせて頂きました。資料希望の方には、お渡しさせて頂きたいと存じますので、地域連携室迄ご連絡下さい。
- (3)中止や延期になっていますれんけいカフェやプチれんけいカフェは、目下再開に向けて調整中です。いま暫くお待ち下さい。

☆第21回「れんけいカフェ」アンケート調査（昨年に引き続き）

◎12月25日(水)の第21回「れんけいカフェ」では、出席者のアンケートを実施するとともに、後日各事業所の協力を得て同じアンケートを行いました。合計89名の方からの回答がありました。概要は次の通りです。

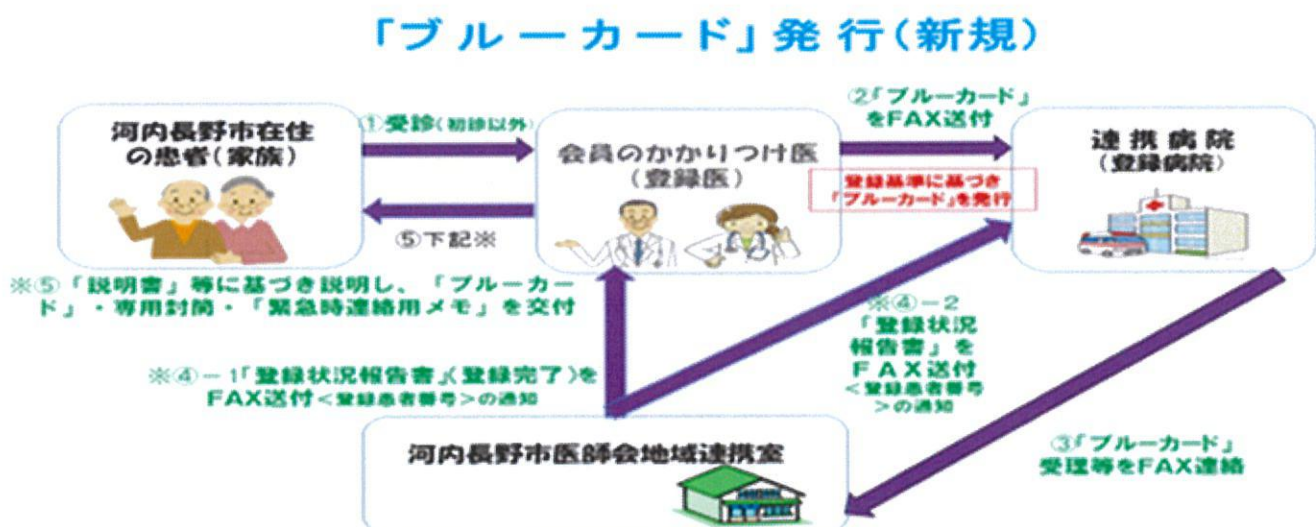
- ①現在の仕事に対する満足感は、ほとんどの方が「感じている・やや感じている」と回答していますが、その比率は下がりました。それに伴い、「仕事で困っている」とした方は約50%にのぼり、昨年より増え、多忙、人員不足、連携の難しさなどがその理由として挙げられていました。
- ②現在の仕事に関する連携度も、「出来ている・やや出来ている」と回答している方が約64%となり、大幅なダウン(約18%)となりました。「あまり出来ていない・出来ていない」は約16%となり、業種間の壁・連携の難しさなどがその理由として挙げられていました。
- ③「現在の仕事の状況を漢字一文字に表す」との問いに関しては、「忙」が全体の約10%を占め、昨年に引き続き第1位となりました。第2位には「楽」が、そして第3位には「新」が夫々急浮上し、いずれも昨年の倍の票となりました。なお、昨年第2位の「難」、第3位同点の「進」「学」「気」は減りました。統計的には、2年連続登場した漢字は22字にのぼり、延べでは84字(常用漢字数の約4%)となりました。また、今年は御代替りに伴い、「令」や「和」と書いた方が3名おられました。
- ④多職種連携のポイントとしては、今年、コミュニケーションと挙げる方が非常に多く、情報共有、意思疎通、信頼構築、他職種理解の重要性が改めて、クローズアップされました。
- ⑤「れんけいカフェ」に対しては、してほしい企画として、相談コーナーの開設、見学会の開催、更なる他職種との連携の強化などがありました。また、意見としては、最新情報提供の謝辞とともに、「また参加したい」との嬉しい意見もありました。

☆新型コロナウイルスに関する(連絡会加入)訪問看護ステーションアンケート調査

◎4月上中旬に、急遽河内長野市内の訪問看護ステーション管理者へのアンケートを実施しました。回答率は100%(8ステーション)です。質問としては、利用者やスタッフへの感染予防策、物品の調達方法や工夫などです。回答では、「もしも」の時の不安や葛藤、物品調達の苦労や苦悩などが垣間見られましたが、この時期の追加依頼や新規導入については、全ステーションから「可能」との力強い意見がありました。

全体として、特に、「もしも」の時を含めた、ステーション間の有機的な連携の重要性、必要性が、改めて感じられたアンケートでもありました。

☆河内長野市ブルーカードシステム(病状急変時対応システム)の推進 ～流れを知る～



☆成年後見制度 ～厚生労働省令和元年度認知症サポート医養成研修テキストより～

◎全国の成年後見制度の現状、課題等(特に、法定後見)として、次の点が挙げられています。

- 現在の利用者数が少ない(平成30年12月31日現在で、218,142人)
- 後見・保佐・補助のうち、後見類型の利用者の割合が、78.7%を占める(成年後見人・成年被後見人)
- 専門職後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士、行政書士等)が選任される割合が、76.8%。その中には、本人の意思決定支援や療養看護など福祉的視点に乏しい運用もあるとの指摘あり
- 主な申立て動機は、「預貯金等の管理・解約」が30,500件で、「療養看護」が14,906件
- (4親等以内の親族がいないなどの理由で行う)市区町村長による申立ての増加

◎改正戸籍法第87条の規定が5月1日(金)に施行され、「死亡届」を出せる人に任意後見受任者が加わりました。死亡届出人は、同居親族、その他の同居者、家主、地主、家屋・土地管理人、後見人、保佐人、補助人、任意後見人、任意後見受任者になります。もちろん、「死亡診断書」を書くのは、医師です。

☆高齢者虐待 ～厚生労働省平成30年度高齢者虐待防止法に基づく対応状況に関する調査結果より～

図1 養介護施設従事者等による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移



図2 養護者による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移



特に、養護者(息子・娘等)による虐待は、身体的虐待が約7割、心理的虐待が約4割あり、その件数は全国で3万件を超え、ここ数年増加傾向にあります(上記グラフ)。特に、昨今、8050問題(注)に加え、新型コロナ禍の中、精神的なストレスからくる高齢者虐待の事例が多発しております。このため、3密ということもありますが、養護者以外の周囲の見守り等が非常に重要な時となっており、コロナ後の課題といえるでしょう。

(注)「8050問題」の80は80代の親、50は自立できない事情を抱える50代の子どもを指し、こうした親子が社会から孤立する問題として、「8050問題」と呼ばれています。

編集後記 ～冬則龍潜(潜) 夏則鳳擧(挙)～

大相撲の立行司・木村庄之助の軍配には、1面に「知進知退 随時出處」、もう1面に「冬則龍潜 夏則鳳擧」と記されています。ちょっと仙人みたいですが、今はそういう時ではないでしょうか。しんどい時はじっと耐え忍び、やがて、世の中が上向いてきた時は澆瀨と動けるようになりたいものです。現在、有用なことは採り入れて、ストレスなく過ごしておくことが重要でしょう。人は、実の所自分の進退は薄々分かっているものなのです。

新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安

1. 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。
- 基礎疾患（持病）をお持ちの方で症状に変化がある方、新型コロナウイルス感染症以外の病気が心配な方は、まずは、かかりつけ医等に電話で御相談ください。

2. 帰国者・接触者相談センター等に御相談いただく目安

- 少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。（これらに該当しない場合の相談も可能です。）
 - ☆ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - ☆ 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
 - ☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）
- 相談は、帰国者・接触者相談センター（地域により名称が異なることがあります。）の他、地域によっては、医師会や診療所等で相談を受け付けている場合もあるので、ご活用ください。

（妊婦の方へ）

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センター等に御相談ください。

（お子様をお持ちの方へ）

小児については、小児科医による診察が望ましく、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。

※なお、この目安は、国民のみなさまが、相談・受診する目安です。これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

3. 医療機関にかかる時のお願い

- 複数の医療機関を受診することにより感染を拡大した例がありますので、複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

たかみ ちか
高海 千歌みらい
桜内 梨子

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「**手洗い**」や「**マスクの着用を含む咳エチケット**」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

ねね
渡辺 曜

正しい手の洗い方

手洗いの
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。